

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第190号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月6日 08時50分ごろ	
発生場所	福岡県苅田町苅田港 苅田港北防波堤灯台から真方位248° 2,200m 付近 (概位 北緯33° 47.5′ 東経130° 59.4′)	
事故等調査の経過	平成22年12月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 ジェイケイ、101トン 132735、株式会社ジェイ・ケイ・ライン</p> <p>B バージ ^{ジェイケイ}J K-1、約1,287トン なし、株式会社ジェイ・ケイ・ライン</p>	
乗組員等に関する情報	A 船長A、四級海技士（航海） B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B 船底に擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長Aほか4人が乗り組み、B船を押して苅田港本港4号岸壁に着岸するため南進中、平成22年7月6日08時50分ごろ、岸壁前面から約100m沖の浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮流 なし、潮汐 下げ潮の末期、満潮時刻 16時00分ごろ	
その他の事項	喫水は、A船が、船首約2.8m、船尾約4.2m、B船が、船首約3.9m、船尾約4.1mであった。 岸壁前面の水路は、幅約240mで、沖側に行くほど浅くなっている。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、B船を押して苅田港において着岸作業中、B船が浅所に乗り揚げたものと考えられる。 船長Aは、水深に余裕があるものと思込み、満潮時まで着岸作業を待たなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、A船が、B船を押して苅田港において着岸作業中、船長Aが、水深に余裕があるものと思込んでいたため、満潮時まで着岸作業を待たず、B船が浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	